

北九州市道路整備中長期計画（素案）に対する
市民意見募集の結果について

1 意見募集期間

令和6年10月23日～令和6年11月13日

2 意見提出状況

(1) 提出者：11人

(2) 提出意見数：28件

(3) 提出方法：電子メール1人、電話1人、持参1人、電子申請8人

(4) 意見の内訳

項目		件数
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり		5件
1-1	稼げるまちを支える広域道路ネットワークの構築	4件
1-2	交差点における渋滞対策	1件
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり		7件
2-1	魅力的なみちづくり	4件
2-5	多様な交通モードに配慮したみちづくり	1件
2-6	防草対策の推進	2件
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり		6件
3-1	通学路の安全対策の強化	1件
3-2	生活道路の交通安全対策	1件
3-4	事故危険箇所の事故防止対策	2件
3-7	日常生活を支える道路の維持管理	1件
3-8	ICT等を活用した新たな道路の維持管理	1件
その他		10件
-	計画の概要、本市の道路を取り巻く状況、効果指標と目標値	3件
-	その他の意見	7件
計		28件

項目		件数
1	計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見	9件
2	計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見	7件
3	計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見	5件
4	その他の意見	7件
計		28件

(5) 計画への反映状況

項目		件数
①	計画に掲載済み	7件
②	計画の追加・修正あり	2件
③	計画の追加・修正なし	12件
④	その他	7件
計		28件

北九州市道路整備中長期計画（素案）に対する
市民意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 計画に追加・修正あり
- ③ 計画に追加・修正なし
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり 施策1-1 稼げるまちを支える広域道路ネットワークの構築				
1	近年、若松区への企業進出が多くなっているが、通勤やビジネス、緊急搬送時間短縮等の点から、例えば、黒崎地区から若松地区へ洞海湾を横断する道路（橋、トンネル）や洞海湾側（藤ノ木方面）と響灘側（向洋町方面）を結ぶ道路を作れないか。 また、都市高速または幹線道路を若松区中部、西部、北部または八幡西区北部に延伸できないか。	本計画では、稼げるまちを支える広域道路ネットワークの整備を進めることとしています。ご提案の内容については、今後の施策の参考にさせていただきます。	2	③
2	小倉南区と八幡東区を結ぶ県道51号「曾根鞘ヶ谷線」は、交通量のわりに道が狭く、歩道などの整備も遅れている。この路線は、小倉市街の外環道、バイパスの役割を果たしていると思われるため、大規模に整備を検討しても良いと思う。		2	③
3	企業誘致や物流取扱量が増加すると、その周辺の道路の交通量が増えるため、本計画（素案）を読んで、改めて新しい道路を整備したり、拡幅工事をしたり、適切に管理することが重要だと感じた。 渋滞や陥没事故が増えると、まちの印象も悪くなるので、道路新設や点検・補修を行う予算をもっと確保してもらいたい。	新たな道路の整備や道路の拡幅については、現在整備を進めている戸畑枝光線や恒見朽網線等の早期完成を目指します。 上記の新しい道路整備や道路拡幅に加え、スポット的な交差点改良等を進めます。 道路の点検や補修については、毎年度予算を確保するとともに、適切に対応してまいります。	1	③
4	北九州市の道路ネットワークは良くできている。福岡市と比較して、渋滞も少ない。	北九州市の道路ネットワークの整備に対してご賛同をいただき感謝します。引き続き道路ネットワークの整備を進めてまいります。	1	①

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 計画に追加・修正あり
- ③ 計画に追加・修正なし
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン1 企業が稼げる強靱なまちを支えるみちづくり 施策1-2 交差点における渋滞対策				
5	黒崎バイパス春の町ランプの供用に伴い、国道3号の渋滞が緩和されていると感じる。一方で、黒崎駅から南側に伸びる国道200号は渋滞が生じているが、今後、どのような対策を行う予定なのか。	現在、国道3号黒崎バイパスから国道200号に接続する黒崎西ランプの整備を国土交通省が進めており、完成後は、国道200号から小倉方面に向かう車両が、現道と黒崎バイパスに分散するため、国道200号も含め、周辺道路の混雑緩和に寄与すると考えています。	4	①
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり 施策2-1 魅力的なみちづくり				
6	市内の学校の周辺や通学路を中心に歩きやすく整備して、ウォークアブルな街を徐々に実現していったらどうか。	通学路については、歩道の整備や防護柵の設置など安全対策を行っています。 中心市街地等については、官民が連携して歩いて楽しいまちの実現を目指してまいります。ご提案のウォークアブルな街の実現については、今後の施策の参考とさせていただきます。	2	③
7	ほこみち制度は、本計画のコンセプトである「未来への成長に向けて挑戦する魅力あふれるみちづくり」を進める上で、とても重要な制度であると考えている。 今後、市内における導入事例がさらに増えていくよう、制度の周知等に取り組んでほしい。	ほこみち制度の周知については、ほこみち指定に必要な手続きや運用ルールをまとめた「ほこみち制度の手引き」や制度のリーフレットを作成し、自治会や国家戦略道路占用事業の認定団体等への周知を行っています。今後も民間団体や商店街等への周知を図ってまいります。	2	③
8	移動販売車の駐車スペースの確保はぜひ進めてほしい。併せて、都市部において、道路管理者による共同の荷捌き所や物流車両の駐車スペースの確保についても検討してほしい。物流事業者との協力により荷物の共同運搬などの取組を進めることで都市部の小さな物流の効率化や車両進入減少が見込め、まちなかの渋滞対策や歩行者にやさしいみちづくりにつながると思う。	道路管理者による共同の荷捌き所や物流車両の駐車スペースの確保については、利用者のニーズ及び全国的な動向を注視してまいります。いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。	3	③
9	おもてなしベンチの設置により、バスの利用促進や商業施設周辺のにぎわいづくり等につながるため推進して頂きたい。今後、どのような箇所を優先的に設置する等の計画はあるのか。	おもてなしベンチは、ニーズを把握した上で、特に利用者数の多いバス停周辺や幅の広い歩道、植樹帯の一部等において、設置を検討してまいります。	1	③

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 計画に追加・修正あり
- ③ 計画に追加・修正なし
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり 施策2-5 多様な交通モードに配慮したみちづくり				
10	今後の電動マイクロモビリティなどの新たなモビリティの増加を見据え、道路の機能分担などを含め、多様なモビリティが共存できる空間の検討が必要だと思う。	本市では、これまで歩道を活用したシェアサイクルのステーションの設置に官民連携して取り組んできました。電動キックボード等の電動マイクロモビリティのステーションの設置等については、今後、市民や利用者のニーズ及び全国的な動向を注視してまいります。	3	③
ビジョン2 人を惹きつけ、若者が集う、彩りある魅力的なみちづくり 施策2-6 防草対策の推進				
11	中央分離帯や植樹帯の草木が伸びていると通行の危険が生じること等があるため防草対策を推進していただきたい。今後、防草対策はどこを優先的に実施する計画なのか。また、植樹帯を撤去した箇所におもてなしベンチを設置する等の計画はあるのか。	道路環境を常に良好な状態に保つため、除草主体の対策から防草対策への転換を図ります。今後は、走行性や安全性の点で要望が多い箇所など、路線を決めて計画的に進めることとしています。 おもてなしベンチは、ニーズを把握した上で、特に利用者数の多いバス停周辺や幅の広い歩道、植樹帯の一部等において、設置を検討してまいります。	1	③
12	雑草で歩道が狭くなっている場所がある。本計画で謳われている防草対策の推進には大賛成である。	防草対策にご賛同いただき感謝します。今後は、道路環境を常に良好な状態に保つため、除草主体の対策から防草対策への転換を図ります。	1	①
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり 施策3-1 通学路の安全対策の強化				
13	通学路の安全対策は、十分な交通安全知識に乏しい児童を守る観点からも重要であり、当該取組みに概ね賛同する。 ビッグデータを活用した通学路整備の促進において、「対策後の効果検証を実施することで改善状況を確認し、リスクが低減していない箇所については、ソフト面について対策を考えるなど、より安全性の向上を図ります。」とあるが、リスクが低減しない箇所についてはハードおよびソフト両面で対策を講じるべきと考える。	通学路の安全対策にご賛同いただき感謝します。 ビッグデータを活用した通学路整備の促進について、対策後の効果検証結果を踏まえ、リスクが低減しない箇所においては、さらなる対策の必要性について、ハード及びソフトの両面で検討を行ってまいります。	3	② P46

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 計画に追加・修正あり
- ③ 計画に追加・修正なし
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり 施策3-2 生活道路の交通安全対策				
14	ビッグデータを活用した安全対策に賛同する。また、地域住民との協力のもと、住民・行政・警察等が一緒に対策案を考え、効果を確認しながら推進していく姿勢にも賛同する。	交通安全対策について、ご賛同いただき感謝します。今後も生活道路の交通安全対策については、地域住民の協力のもと、住民・行政・警察等が一緒に対策案を考え、効果を確認しながら対策を進めてまいります。	1	①
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり 施策3-4 事故危険箇所の事故防止対策				
15	高齢化が進んでいるため、交差点名等の交通標識を大きく見やすくした方がよいのではないか。	標識板や文字の大きさについては、道路標識令に基づき決定していますが、円滑な交通の確保が図られるよう、交通の状況を考慮の上、適切に対応してまいります。	2	③
16	事故危険箇所については、本文でも記載のとおり「死傷事故が多発している箇所」であることから、次の被害者が発生しないように着実に事故防止につながる整備を進めていただきたい。	幹線道路で交通事故が多い箇所や事故の危険性が高い箇所に対して、警察と道路管理者が連携して、路面標示、区画線、減速マーク等の事故防止につながる整備を進めてまいります。	2	①
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり 施策3-7 日常生活を支える道路の維持管理				
17	幹線道路の液状化による交通のマヒをどのように防ぐか、大阪府高石市等の事例を参考にしてみてもどうか。	液状化防止対策について、大阪府高石市をはじめ、他都市の事例を参考にしてみたい。	2	③
ビジョン3 安らぎのある暮らしを支えるみちづくり 施策3-8 ICT等を活用した新たな道路の維持管理				
18	道路等損傷箇所市民通報システムは安全安心なまちづくりを目指す上で非常に有効なシステムだと考える。市ホームページ以外でも周知した方がよいと思うが、他にどのような周知を行っているのか。	道路等損傷箇所市民通報システムについては、これまで、市公式SNSや市政だよりを活用した周知を行っており、引き続き多くの方々から通報をいただけるよう、今後もこれらの周知を継続的に実施してまいります。	1	④

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 計画に追加・修正あり
- ③ 計画に追加・修正なし
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
その他 計画の概要、本市の道路を取り巻く状況、効果指標と目標値				
19	災害に強いみちづくりの重要性に対する認識、また計画策定にあたって、防災・減災、国土強靱化に向けた道路整備や整備した道路の良好な景観の保全及び歩行者の利便増進といった新たなニーズを踏まえるという着眼点に関して賛同する。	本計画の方向性について、ご賛同いただき感謝します。 計画の策定にあたっては、防災・減災、国土強靱化に向けた道路整備や整備した道路の良好な景観の保全及び歩行者の利便増進といった新たなニーズを踏まえてまいります。	1	①
20	交通管理者と連携して交通事故対策を行う必要があるという現状認識に賛同する。 16 ページのタイトルと本文の記載内容の整合性があっていないと考える。	交通事故対策にご理解をいただき感謝します。引き続き、警察と連携し、「施策 3-1 通学路の安全対策の強化」や「施策 3-2 生活道路の交通安全対策」、「施策 3-4 事故危険箇所の事故防止対策」といった施策に取り組んでいきます。 16 ページのタイトルを本文の記載内容と整合が取れるように、修正いたします。	3	② P16
21	施策 3-1「通学路の合同点検の実施率」や施策 3-4「事故危険箇所における事故防止対策の実施済箇所数」は、対策をすることも重要であると考えているが、通学路や事故危険箇所における事故件数を減少させることが究極の目標であると考えているため、「通学路内での事故件数」や「事故危険箇所（市管理 88 箇所）内の事故件数」などの効果指標設定もご検討願いたい。	道路形状などハード面に起因しない事故もあるため、ご提案の「事故件数」による効果指標の設定は困難であると考えます。 そこで本計画においては、施策 3-1「通学路の合同点検」では、学校・地元・警察・行政が協働して、通学路の交通安全や防犯・防災面を幅広く点検し、対策必要箇所への対応を行っています。このような取組みを継続して実施することが、通学児童の安全確保に繋がるため、目標値として「合同点検の実施率」を設定しています。 施策 3-4「事故危険箇所における事故防止対策」については、事故の減少に向けて、着実に対策を実施していく趣旨から、5 年間の目標値として「対策実施箇所」を設定しております。	3	③

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見

【意見の反映結果】

- ① 計画に掲載済
- ② 計画に追加・修正あり
- ③ 計画に追加・修正なし
- ④ その他

No	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
その他の意見				
22	国道3号黒崎バイパスの整備効果により、黒崎駅前近辺の交通量が減少しているため、信号現示の再調整をお願いしたい。	信号現示の調整は、警察の所管となるため、国道3号黒崎バイパスの整備効果を注視しつつ、必要に応じて、警察と協議を行ってまいります。	4	④
23	道路工事の際に発生する土砂やアスファルト等の廃棄物を放置すると、周辺の住民等に多大な影響が出るため、適切に処分して欲しい。	北九州市発注の公共工事においては、建設発生土や建設廃棄物を指定した受入地や受入施設で適切に処分しています。	4	④
24	まちなかでは、歩道にインターロッキングを使用しているところもあるが、車両の出入部等はガタついている。車いすやキャリーバックを持った旅行者は歩きづらいと思う。アスファルトで平坦な歩道にして欲しい。	近年、歩道を新設する場合は、できるだけアスファルト舗装で整備しています。既にインターロッキングで整備している歩道にガタつきがある場合は、最寄りの区役所まちづくり整備課へご相談下さい。	4	④
25	車両の出入りのため、歩道部を切り下げている場所があるが、歩行者の視点からは歩きにくく感じる。	車道と宅地等の地盤に高低差がある既存の歩道については、改良が困難となるところもありますが、近年、歩道を新設する場合は、切り下げずに平坦に整備しています。	4	④
26	自転車レーンや歩道上に駐車する車両のせいで、歩道や自転車レーンの利用に危険が伴うので、改善して欲しい。	道路交通法上、長時間の駐車は違反となるため、所管である警察へ取締りの強化をご相談下さい。	4	④
27	一方通行に軽車両を除くがない。以前住んでいた都市では、ほとんどが軽車両を除く形になっていた。軽車両を除かないと、自転車には不便。	交通規制については、警察の所管となるため、具体的な地域を最寄りの警察署へご相談下さい。	4	④
28	計画内容は十分に期待できる内容であり、是非とも進めていただきたい。	計画について、ご賛同いただき感謝します。 令和7年度から概ね10年間の計画期間において、各ビジョンに掲げた施策に着実に取り組み、「未来への成長に向けて挑戦する魅力あふれるみちづくり」を進めてまいります。	1	①